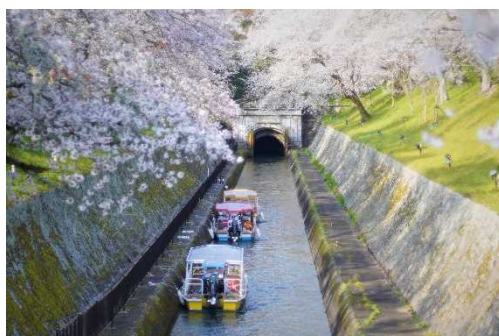


部局名	文化スポーツ部	商工観光労働部
所属名	文化財保護課	観光振興局
係名	建造物第一係	地域資源活用係
担当者名	中島、坪田、櫻庭	間柴、北原
連絡先 (内線)	077-528-4683 (4683)	077-528-3743 (3743)
	講座に関すること	展示に関すること

琵琶湖疏水施設国宝答申記念事業について

令和7年(2025年)5月16日に開催された国の文化審議会文化財分科会において、琵琶湖疏水施設16所4基4棟(うち3所が滋賀県に所在)が国宝・重要文化財に答申されました。これを記念して琵琶湖疏水の歴史や、今回答申された建造物群に関する記念講座や、パネル展示を開催します。



琵琶湖疏水施設国宝答申記念講座

タイトル：琵琶湖疏水施設の特徴と歴史的価値について

滋賀県文化財保護課 坪田 叡伴

日時：2025年6月30日(月)10:00~11:00

会場：滋賀県庁新館7階大会議室

(新館の大江駅側の玄関から入り、一番手前のエレベーターでお上がりください)

参加費：無料

参加方法：事前申込(申込〆切：6月25日(水)17時)

メールまたはFAXにて下記の点を記してお申し込みください。

- ・参加する方全員分の氏名(ふりがな)
- ・連絡先(連絡のつきやすい電話番号)

※先着順(100名程度)

申込先：滋賀県文化スポーツ部文化財保護課建造物第一係

メール：kenzou-1@pref.shiga.lg.jp / FAX：075-528-4956

琵琶湖疏水施設国宝答申記念パネル展示

日時および会場：滋賀県庁東館2階エントランス 展示スペース 5月19日(月)~30日(金)
新館3階渡り廊下ギャラリー 6月2日(月)~30日(月)

琵琶湖疏水について

琵琶湖疏水施設は、琵琶湖を水源として滋賀県大津市から京都府京都市に至る長大な運河を構成する施設で、明治18年（1885）着工され同23年（1890）に竣工した第一疏水や、その後大正時代までに整備された第二疏水やその関連施設があります。当時の国内での大規模土木事業が外国人技術者に依存するなか、田邊朔朗をはじめとした日本人技術者の手で完成しました。

令和7年5月16日（金）に開かれた国の文化審議会文化財分科会において、琵琶湖疏水の施設のうち、16所、4基、4棟を国宝・重要文化財に指定するよう文部科学大臣に答申されました。このうち滋賀県に所在するのは、第一疏水に含まれる大津閘門及び堰門、大津運河、第一隧道の3所です。

○第一隧道 明治23年（1890年）【国宝】

第一隧道は、れんが造りの全長2,436.1メートルのトンネルです。当時としては長大なトンネルであり、疏水工事のなかでも最大の難関だったため、トンネル工事としては国内初の豎坑工法を採用しています。また、坑門は他に類を見ない記念碑的な造りとしています。

○大津閘門及び堰門 明治22年（1889年）【重要文化財】

大津閘門及び堰門は船の通航時に琵琶湖と大津運河の水位差を調節する大津閘門と、湖水の増減に関わらず疏水に一定量を供給する水量調整を行う堰門を南北に並べた施設です。れんが造りの本格的な閘門として国内で最初期のものです。

○大津運河 明治20年（1887年）【重要文化財】

大津運河は、疏水運河のうち大津閘門と第一隧道を結ぶ区間で、曳舟道や石造の護岸などの当時の構造が良く保存されています。また竣工時に植えられた桜並木と共に多くの県民や観光客に親しまれる景観となっています。

